

# 令和二年度 入学式 式辞

自然は偉大です。社会情勢がどうあれ、桜は咲き、春の息吹をきちんと届けてくれました。この穏やかな佳き日、第七十五回生、230名の新入生を迎えることができ、嬉しく思います。入学おめでとう。そして保護者の皆様、お子様のご入学、おめでとうございます。

昨日、明石市も臨時休校が決定し、皆さん不安なことだと思います。だからこそ、今日はいい入学式にしようと、職員一同、昨日から心をつにしています。何があるうと、皆さんが栄えある二見中生となり、大きな一歩を踏み出したことは変わりありません。心からお祝いし、2つお話ししたいと思います。

少し前、神戸新聞の読者投稿欄に中学1年生が書いた『親切にあこがれる』という投稿が載っていました。作者は今までの自分を変えたいと思っているが、どうしたらいいかわからない。そこで今まで自分がやってこなかった、「親切」を心がけて生活してこうと決意した作文でした。私は自分の体験からも「人は変われる」と思っています。理由はわかりませんが、それをやろうとしている彼を応援したい気持ちです。まさに中学入学はその節目にもってこいです。小学校最高学年として培った力をもとに、是非、中学校でも新たな自分づくりにチャレンジしてください。

2つ目は今のこのような状況でも、持っていてほしい視点です。実は今、国際宇宙ステーション「きぼう」が見所を迎えています。おとこの夜、天候も良かったのできれいに見えました。キラツと光ったかと思うと、すーっと弧を描いて東の空に消えていきました。次は明日が見所で18:52、西北西の方角に見えます。サッカーのピッチぐらいの大きさのステーションが90分で地球を1周しています。こんな時ですが、自然や学問、文化、芸術、運動などに好奇心を持っている、中学生本来の生き生きした姿勢も、くずさないでほしいと願っています。

保護者の皆様、これからの三年間、職員一同、お子様の教育に精一杯取り組んでまいります。時にはご家庭の思いとすれ違うことがあるかも知れませんが、お子さんの健やかな成長を願っている気持ちは同じです。どうかご理解いただき、互いに手を取り合つて、協力しましょう。

それでは、入学を心からお祝いたしまして、式辞といたします。

令和二年 四月八(ようか)日

明石市立二見中学校 校長 矢野 毅 吉